

\*\* 2012年 4月 第7版  
製造販売業者の住所変更に伴う改訂等  
\* 1999年 12月 第6版  
薬事法改正に伴う改訂  
<貯法>  
保存条件：遮光保存  
容器：気密容器  
<注意>  
取扱い上の注意の項参照

日本標準商品分類番号 872619  
承認番号 16000AMZ02269000  
薬価収載 1967.7  
販売開始 1967.7  
再評価結果 1983.4

## 外皮用殺菌消毒剤

日本薬局方 アクリノール水和物

# アクリノール「コザカイ・M」

Acrinol Hydrate

### \*\*【組成・性状】

#### 1. 組成

本品 1g 中に、日本薬局方 アクリノール水和物 1g を含有する。

#### 2. 性状

本品は黄色の結晶性の粉末である。

### 【効能・効果】

化膿局所の消毒

泌尿器・産婦人科術中術後

化膿性疾患（疔、よう、扁桃炎、副鼻腔炎、中耳炎）

口腔領域における化膿局所の消毒

### 【用法・用量】

[化膿局所の消毒]

0.05 ～ 0.2% の液として使用する。

[含嗽]

0.05 ～ 0.1% の液で含嗽する。

### 【使用上の注意】

#### 1. 副作用

- \* 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

| 種類                 | 頻度 | 頻度不明                                  |
|--------------------|----|---------------------------------------|
| 皮膚 <sup>注1)</sup>  |    | 塗布部の疼痛、発赤、腫脹等があらわれ、さらに潰瘍、壊死を生じることがある。 |
| 過敏症 <sup>注2)</sup> |    | 過敏症状                                  |

注1) このような症状があらわれた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。

注2) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

#### 2. 適応上の注意

外用にのみ使用し、内服しないこと。

### 【薬効薬理】

各種化膿菌、特にれんさ球菌、ウェルシュ菌、ぶどう球菌、淋菌に対し、静菌及び殺菌作用がある。作用機序は、生体でアクリジニウムイオンとなり細胞の呼吸酵素を阻害するといわれている。生体組織にほとんど刺激を与えず、血清たん白質の存在下でも殺菌力は低下しない。

### \*\*【有効成分に関する理化学的知見】

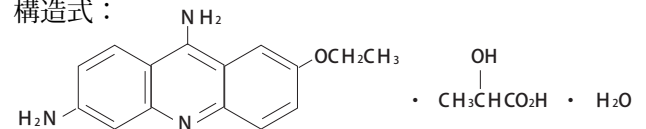
一般名：アクリノール、乳酸エタクリジン

化学名：2-Ethoxy-6,9-diaminoacridine monolactate monohydrate

分子式：C<sub>15</sub>H<sub>15</sub>N<sub>3</sub>O · C<sub>3</sub>H<sub>6</sub>O<sub>3</sub> · H<sub>2</sub>O

分子量：361.39

構造式：



性状：黄色の結晶性の粉末である。水、メタノール又はエタノール（99.5）にやや溶けにくい。本品 1g を水 100mL に溶かした液の pH は 5.5 ～ 7.0 である。

### 【取扱い上の注意】

衣類に付着すると黄色に変化し、脱色しにくいので注意すること。

【包装】 25g、500g

\*製造販売元



小堀製薬株式会社

\*\* 東京都墨田区両国 4-36-9